

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

G
JaGra

● 巻頭企画：新連載スタート

我が社の自費出版事情①

サンライズ出版(株) (滋賀)

● 特別企画

コロナアンケート第二弾

新型コロナによる影響は？

66.7%が前年比売上 -20%以上と回答

● 連載

印刷産業における
取引環境実態調査③

版画と謄写とこれから④

● NEWSとお知らせ

日印産連「印刷の月」

ジャグラから三氏一社が表彰される

電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中。
紙媒体より1週間早い毎月中旬に
ご覧いただけます。バックナン
バー閲覧もここから!



<https://www.jagra.or.jp/>

なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。
会長の中村耀です。

内閣府が8月に発表した今年4月から6月期のGDP速報値によると、実質27.8%減と戦後最大の下げを記録しました。予想はしていましたが、新型コロナウイルス感染症が及ぼす経済的な打撃の大きさを改めて痛感しました。コロナ前の水準に戻るのは来年度末頃という西村経済再生担当大臣の見方がありますが、すでにコロナの影響が仕事に出ている私たちは、日々どう生き抜いていくかが喫緊の課題となっています。こうした中、星野リゾートの星野社長が指摘するマイクロツーリズムのように地元・近隣県での経済活動が中小企業にとって重要性を増しています。地域に必要とされる会社を常に体現してきた多くのジャグラ会員の活路もここにあるような気がします。

ジャグラ本部としてもジャグラBBなどを通じて皆さんに有益な情報を引き続き発信していきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

CONTENTS

●巻頭言

01 コロナに負けるな! 今こそ繋がりよう! 相互扶助こそジャグラの根源!

——ジャグラ副会長/(株)ニシキプリント(広島) 宮崎 真

●巻頭企画:新連載スタート

04 我が社の自費出版事情①

吉田与志也著『信仰と建築の冒険』ほか

——サンライズ出版(株)(滋賀) 編集部 岸田 幸治

●緊急のお知らせ(新型コロナ関係)

08 アンケート第二弾

「新型コロナによる影響は?」

66.7%が前年比売上-20%以上と回答!

11 活用していますか? 雇用調整助成金の申請が簡素化されました

●連載

21 印刷産業における取引環境実態調査③

印刷企業のPL(損益計算書)構造

——経済産業省の調査報告書より

26 版画と謄写とこれから④

——Atelier 10-48 主宰/版画家 神崎 智子

●NEWSとお知らせ

02 「丑年・年賀状印刷見本帳」ダウンロード開始!

03 ジャグラ認定DTPオペレーション技能テスト 10月より募集開始!

18 ジャグラBB/Zoomオンライン無料セミナーのご案内

10.7「スマホでかんたん動画作成セミナー」

19 アドビのオンラインイベントのご案内

10.21-23「Adobe MAX 2020」

14 委員会通信

25 業界の動き

日印産連「印刷の月」ジャグラから三氏一社が表彰される

29 ジャグラBB HOTNEWS

16 書籍案内

28 会員の異動/新入会

28 事務局日誌とスケジュール

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

コロナに負けるな! 今こそ繋がりよう! 相互扶助こそジャグラの根源!

ジャグラ副会長/(株)ニシキプリント(広島) 宮崎 真



この度、ジャグラ副会長を拝命しました広島県支部の宮崎です。以前はジャグラとは少し距離を置いていましたが、10年前、ジャグラの事業で秋田の熊谷社長と再会したのをきっかけに、いつの間にかジャグラに(良い意味で)どっぷりつかっております。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、あらゆる価値観が変化し、これまでの「正解」が通用しない中で、自社事業を含め、どう進めていくべきか悩みは尽きません。奇しくもジャグラでは本年度を迎えるにあたり、各種事業のあり方や進め方を基本から見つめ直し、組織を変えるべく議論を重ねてきました。その結果が、本年度のスローガン「強いジャグラ~逞しく・繊細に~」です。私は経営基盤事業担当副会長として、生産性向上委員会と経営技術研究委員会の2つの委員会を担当することとなりました。

生産性向上委員会は、主に現場の生産性を数値により「見える化」することで改善を進める委員会です。現在、稲満委員長を筆頭に委員会メンバーが自社の課題を抽出し数値化を行っています。今後、委員会内で改善が進み実践事例が蓄積すれば、広く会員企業へフィードバックできるのではないかと考えています。

経営技術研究委員会は、会社の器をより良くするため中小企業にこそ必要な「働き方改革」を研究する委員会です。向井委員長以下、委員会メンバーを東日本・中日本・西日本の3グループに分け、平均的なジャグラ会員企業の規模にマッチする先進事例を集めています。有益な事例については、実践企業を講師に招き会員企業に紹介する場を設けたいと考えています。

各社が抱える問題は多岐にわたり、簡単には解決できません。しかしながら、問題解決への取り組みがアフターコロナの世界を生き抜くための一歩になると考えています。課題を抱える会員企業にとって解決の糸口となれるよう2年間活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

弊社は1967年の創業以来、「書籍づくり」と「障がい者雇用」を大きな柱としています。タイプ印刷から

始まり、官公庁・学校関係を主な取引先とする軽印刷業——というジャグラのだ真ん中のような会社で、ご多分に漏れず近年は売上げが右肩下がりです。これまで多くのジャグラ会員と出会い、相談し、事業のヒントをいただけてきました。そしてたどり着いたのが、この2つの柱の再構築でした。

「書籍づくり」は、営業知識はもとより文字組版、印刷、製本と総合的な技術力が求められます。そこで、国家試験や認定試験、ジャグラ開催のコンテスト等に積極的に参加することで個々の技術力の底上げを図るとともに、今年4月からは資格手当を新設し、資格取得を奨励しています。個々の能力向上により生産性が上がり、その結果、残業時間の削減と有給休暇取得率の向上が進んでいます。それ以上に、従来のフィールドから飛び出し、新しい商品やサービスの開発に挑戦する動きも出てきています。

「障がい者雇用」の再構築では、障がい者雇用を前提とした福祉事業所を設立し、新たな仕事の可能性が広がりました。また障がい者雇用と同じく社員の多様性を活かすため、パート社員等を中心に働きやすい職場環境づくりにも取り組んでいます。

コロナ禍の危機にじっと耐え、現状を守り抜く方が良い場合もあるでしょう。しかし、本来なら5年先だったかもしれない印刷業界の変革の波が、コロナに乗じて一足先にやって来た、と私は考えています。多くのジャグラの仲間たちが、同じようにピンチをチャンスに変えるべく改革に取り組んでいることと思います。

今まで以上に変化に強いしなやかな会社づくりを目指しますので、引き続き皆さんからの熱いアドバイスをよろしくお願いいたします。

人との距離を取らざるをえない「新しい生活様式」の中で改めて実感したことは、一期一会の大切さです。交通網の発達で遠方の人と簡単に会えるようになった一方、「一期一会」の重みが薄らいでいたのかもしれませんが。オンラインでの会話が当たり前となった今、皮肉なことですが、面と向かって話をすることがいかに素晴らしいことかを再認識している次第です。

年賀状商戦の準備はお早めに 「丑年・年賀状印刷見本帳」 ダウンロード開始！

年賀状デザインコンテスト委員会

本誌先月号で、年賀状デザインコンテスト委員会（担当理事：岡澤誠副会長、委員長：尾形文貴理事）が実施した「2021 年 丑年・年賀状デザインコンテスト」の入選作 100 点をご紹介しますが、それらの作品で構成した「年賀状印刷見本帳」がこのほど完成！各入賞データとともに、8 月 21 日より下記専用サイトにダウンロード可能となっています。そのまま使うもよし、自社オリジナルデザインを組み込んでカスタマイズするもよし、ジャグラ会員は無料で年賀状商戦にご活用いただけます。準備はお早めに！

<https://www.jagra.or.jp/nenga2021/>



A4 判 8 ページ
フルカラー
社名 / 価格を
書き替えるだけで
すぐ使用できます

ジャグラ認定 DTPオペレーション技能テスト 10月より募集開始！

ジャグラコンテスト委員会

ジャグラコンテスト委員会（委員長：笹岡誠理事、担当理事：谷川聡副会長）は、DTPオペレーターの技能向上を目的とした新試験制度「JaGra 認定 DTPオペレーション技能テスト（略称 JCS T: JaGra Certified Skill Test）」をスタートします。

JCS Tは、課題をもとに制作されたDTPデータをスコア評価し、印刷物制作現場で即戦力として活躍できるDTPオペレーション技能を有する人物を認定するとともに、自身のオペレーション技能レベルを数値化することで今後強化すべきポイントを把握することができるテストです。課題データはインターネット経由で提出し、審査員による評価をスコア表でお返しします。10月からの募集開始を目指し、鋭意準備中！ 詳細は本誌次号でお知らせします。

JCS T概要

募集期間

2020 年 10 月より第 1 期受験者募集開始予定

応募方法

特設サイトからの応募、メールアドレス必須

参加費（税込）

ジャグラ会員 8000 円 / 会員外 1 万円

内容

- ①第 1 期は Adobe InDesign とそれに付随する印刷物制作に関する技能テストを実施します
- ②制作課題を 4 問出題（予定）
- ③ Adobe InDesign およびリンクファイル、その他課題要項の指示に従い、必要ファイル一式を圧縮して提出

- ④課題出題より約 1 か月後にインターネット経由で課題を提出、その後約 2 か月後にスコア表を返却
- ⑤今後 InDesign 以外のテストも実施していく予定

受験対象者

おおむね業務歴 2 年以上の方
※実務経験がない方もチャレンジしていただけます

ジャグラコンテストとの違い

ジャグラコンテストは、ジャグラが 2015 年より開催している DTP オペレーターの技能競技会です（2020 年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を見送りました）。ジャグラコンテストと、JCS T の違いと共通点は下記の通りです。

●違い

- ①ジャグラコンテストは点数により順位をつけるが、DTP オペレーション技能テストは順位をつけない点
- ②ジャグラコンテストは第 1 次審査と第 2 次審査（実技試験）を実施するが、DTP オペレーション技能テストは実技試験を実施しない点
- ③ジャグラコンテストは競技であるため、知識とテクニックを駆使しなければ高得点を狙えない難解な設問が出題されることがあるが、DTP オペレーション技能テストは技能評価を目的とした設問のみを出題する点

●共通点

- ①インターネット経由で課題を提出する点
- ②課題をもとに制作されたデータを評価し、採点結果をレポートで返却する点
- ③印刷物制作現場で実際に受注した業務であることを想定した課題を出題する点
- ④問題作成・審査・採点に携わる専門委員がジャグラコンテストと同一である点

我が社の自費出版事情

第1回：サンライズ出版(株)（滋賀）<https://www.sunrise-pub.co.jp/>

吉田与志也著『信仰と建築の冒険』ほか

同社・編集部 岸田幸治

●新連載スタートにあたって：本誌編集部

プライベート出版という域を超え、昨今では社会問題など幅広いカテゴリーをカバーしている「自費出版物」。ジャグラーは90年代半ばから組合の一事業として「自費出版」を支援し、その活動は「NPO法人日本自費出版ネットワーク」に引き継がれています。本誌では会員企業が手がけた「自費出版物」を紹介、そして制作時の裏話・苦労話を披露していただくことで、他の会員企業のビジネスヒントになればという想いから、「新連載・我が社の自費出版事情」をスタートすることになりました。記念すべき第一回は、先ごろ「地方出版文化功労賞」を受賞した滋賀のサンライズ出版(株)さんにご寄稿いただきました。

×

優秀な地方出版作品を顕彰する「第33回地方出版文化功労賞」の最優秀賞にあたる「功労賞」を、弊社が昨年5月に出版した『信仰と建築の冒険—ヴォーリズと共鳴者たちの軌跡—』が受賞しました。同書の内容と制作の経緯を紹介させていただきます。

初めて明らかとなった発展の軌跡

ウィリアム・メレル・ヴォーリズの名は、日本各地に残る学校や教会など多くの西洋建築を手がけた建築家としてご存じの方も多いと思います。1905年（明治38）、彼はキリスト教の伝道を主たる目的に、滋賀県立商業学校（現、近江八幡商業高校）の英語科教師として来日しました。

赴任先の八幡町（現、近江八幡市）では、生徒を集めたバイブルクラスなどへの住民の反発からわずか2年でその職を解かれてしまいます。ところが、彼はその後も同地にとどまり続け、県内各地でバイブルクラスを開催、3か所にYMCA会館を建設。伝道活動の資金を得るために始めた建築設計の仕事にはやがて多くの依頼が舞い込むようになり、軽井沢・東京・大阪



に事務所を置くまでになります。商業学校時代の教え子の青年たちを中心とした伝道団「近江ミッション」も60名を超すまでに成長、塗り薬メンソレータムの販売事業にも手を広げます。

資金力のある宣教団体には属さないエバンジェリスト（平信徒伝道者）にすぎなかったヴォーリズのこうした成功は、当時、アメリカでも驚きとともに広く知られていました。ところが、現在までその初期の活動が詳細に語られたことはなく、日本建築史、日米関係史上の大きな謎の一つだったともいえます。

本書は、来日までのアメリカ時代を第1章に置き、2章以降の各章では1905年から1920年まで1年きざみにヴォーリズと彼に共鳴しともに行動した人々に関連する出来事を、これまで未発表だった日記や書簡、写真などの一次資料も交えて紹介し、かつてない成果として高く評価されました。

著者自宅に大量に残されていた日記や書簡類

著者の吉田与志也さん（滋賀県守山市在住）は、英語科教師時代のヴォーリズの教え子の一人で、そのまま生涯のパートナーとなった吉田悦蔵の孫にあたり、



1912年1月6日の近江ミッション（吉田家蔵）
右端がヴォーリズ、中央が吉田柳子、その右隣が吉田悦蔵、着物姿が桜美林学園創立者となる清水安三



1912年のヴォーリズ建築事務所（吉田家蔵）



1914年末ごろ、近江八幡に登場した西洋建築（吉田家蔵）左手前から吉田邸、ウォーターハウス邸、ヴォーリズ邸

ヴォーリズの住宅として最初期のものである「吉田家住宅（滋賀県指定有形文化財・一部国登録有形文化財）」で生まれ育ちました。

吉田さんは、10年ほど前から家の保存を受け継ぎ、保管されていた大量のアルバムや資料に目を通し始めたところ、そこには、これまで知られていなかったエピソード、あるいは断片的に聞かされていた祖父たちのエピソードをつなぐ内容の記述を多数見出します。もともと信仰深いタイプではなかった吉田さんは、周囲が同志社大学への進学を望んでいるのは承知のうえで、「反抗心もあって立命館に行ったんですよ」と苦笑いしながらおっしゃったこともあるぐらいで、それまでは祖父やヴォーリズの業績とは距離を置いていたそうです。それでも、目にした資料をこのまま埋もれされる気にはなれず、世に伝え残すために本書の執筆に取り掛られました。

とはいえ、未整理な原資料を年代順に整理し、筋道だった通史としてまとめるのは容易ではありません。吉田さんは、ヴォーリズ建築研究の第一人者で、本書の帯に推薦文もお寄せいただいた大阪芸術大学の山形政昭教授の助力を仰ぐとともに、その紹介で近代建築にも造詣の深い奈良県在住のフリー編集者・原章さん（編集工房レイヴン主宰）に編集面での協力をお受けになりました。

そういうわけで、発行元として弊社に原稿が持ち込まれた時点でほぼ編集作業の大枠は終了しており、編集担当とは名ばかりで私が貢献したことはほとんどありません。しいてあげれば次の二つです。まず、ヴォーリズたちの伝道団体「近江ミッション」が農村伝道へ向けた事前調査として行った徒歩による宗教生活調査の記録に登場する滋賀県内の明治末期の集落名は、元の資料が英文（ローマ字表記）で書かれているため、特定が難しいものを探したり、誤りを見つけたりしました。

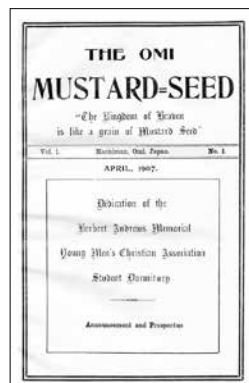
もう一つは、書名です。当初、著者からあがってきたタイトル案は、最終的にサブタイトルになったものに近かったのですが、これとは別にメインタイトルとして、「はじめに」の文中にあった「信仰の冒険」という言葉を、本書のイメージに合っているのではと提案しました。ところが、「『信仰の冒険』という言葉は、牧師の説教のタイトルにもよく用いられるキリスト教ではありふれた言葉です。このタイトルにすると、ネット検索では埋没することになりますよ」（大意）というメールが返ってきて、無知をさらす結果となりました。それでも懲りずに、若さと幾分かの無謀さを感じられる「冒険」という言葉を残そうと提案を重ねて、最終的には真ん中に「建築」の語を加えたメインタイトルに落ち着きました。

いくつもの幸運と奇跡に支えられた冒険

1905年（明治38）から1920年（大正9）にかけて、ヴォーリズが25歳から40歳、吉田悦蔵が15歳から30歳の時期に挑んだ「冒険」は、もちろん順風満帆というわけにはいきませんでした。

勝算がなかったわけではありません。建築設計の分野についていえば、事務所設立から間もない時点で、日本の風土（地震が多いなど）や慣習（下駄を脱ぐ習慣など）を熟知した自分たちが教会や幼稚園、YMCAなどを設計することは、これまで高額にもかかわらず不十分な設計と不十分な現場監督によって維持・修繕費に多大な出費を強いられていたミッション系の団体にとって非常にメリットとなる——という意味のことをヴォーリズが記しています。

ただし、この頃、建築事務所の庶務と会計の仕事を担当していたのは、吉田悦蔵が神戸の実家から呼び寄せた母・柳子（りゅうこ）と彼女が連れてきた女中のお春でした。彼女たちは仏壇も持ち込み、当初、毎朝7時からの読経を欠かさなかったといいます。そんな状況からのス



主にアメリカの支援者に郵送された
機関誌『近江マスタードシード』創刊号



企画・監修 公益財団法人近江兄弟社・湖声社
『漫画W・メレル・ヴォーリス伝
—隣人愛に生きた生涯—』(サンライズ出版)

スタートでした。

一つの武器となったのは、印刷物です。1907年（明治40）、ヴォーリスは『近江マスタードシード』という月刊の英文機関誌を「近江の伝道に関心を寄せるアメリカ人」に向けて送り始めます。渡米するたびに定期購読者を募り、誌面で活動への寄付をお願いすると、1910年には400人近くへと寄付協力者が膨らみました。1916年には北米の郵送先が1000件を超えました。

それらの寄付に加え、メンソレータム社の創業者であるA・A・ハイド、製糖業で財をなした大富豪の長女で慈善活動家だったメアリー・ツッカーからも大口の寄付を得ます。日米間の関係悪化によって寄付が減少する1930年代後半までに、団体の経済活動だけで運営が成り立つようにできたことは幸運でした。

また、私自身、当時の近江八幡（ひいては滋賀県）を旧弊な田舎町とばかり思っていたのですが、本書によって滋賀県内各地での具体的な伝道のようなことを知ると、若い世代を中心にキリスト教と西洋文化にとっても好意的だったことがわかりました（ちなみに著者が調べたかぎりでは、日本で最初にハロウィンが催されたのは近江八幡だそうです）。

こうした日米間の知られざる歴史はもちろん、吉田悦蔵が軽井沢で出会った留学経験をもつ女性と文通を重ねて婚約に至ったものの5年後に解消するといった人間ドラマもたっぷりの本書、ぜひ一読を。

これまでのヴォーリス関連の出版物

最後にヴォーリス関係の弊社出版物について振り返らせていただきます。

ちょうど20年前の2000年6月に制作を開始して、翌年3月に発行した『滋賀の20世紀 ひと・もの・こと』（企画：滋賀県企画課）という本は、「ひと（人物）」「もの（産物）」「こと（出来事）」に分け、滋賀県における20世紀を10代にわかる形で伝えようとした本でした。「ひと」の章は伊藤忠兵衛、山岡孫吉、

堤康次郎らが2ページ単位（文章と4コマ漫画）で紹介されるなか、冒頭の30ページのストーリー漫画でヴォーリス（^{ひとつやなぎめれる}一柳米来留）の生涯を描くことになりました。「滋賀の人々と風土を愛し、多くの社会貢献をおこなった」（同書「はじめに」より）という理由で、20世紀を代表する郷土の偉人に外国人が選ばれたのは、英断だったといえます。

担当した私はヴォーリスの自伝『失敗者の自叙伝』など関係書籍を読んでシナリオを作りました。ページ数から想像いただけるとおり、非常に駆け足でヴォーリスの生涯をたどったものだったのですが、商業学校時代の生徒たちとの交流、華族の娘・一柳満喜子とヴォーリスの出会いと結婚、日米関係が悪化する中での日本への帰化……とドラマチックな展開には事欠きません。おかげさまで評判はよく、ヴォーリス建築事務所から「建築設計の依頼者などへの配布用に単独の冊子を制作したい」というお電話をいただきました。残念ながら、本自体が出版されて間がなく、県予算を使った本でもあったため、この申し出は立ち消えとなりました。

それから10年余りが経った2013年、今度は公益財団法人近江兄弟社から同様にヴォーリスの漫画部分を単体の本にしたいという相談がありました。翌2014年がヴォーリスの没後50年にあたることから、式典出席者や新入社員への配布用に使いたいという希望でした。この時点で『滋賀の20世紀』は絶版となっており、滋賀県の担当課の了解も得ることができたため、改訂・増補した『漫画W・メレル・ヴォーリス伝—隣人愛に生きた生涯—』という40ページながらハードカバー、2色刷の本を制作することができました。

企画・監修には、1912年、機関誌『湖畔の声』を刊行するために近江ミッションの中に設けられた印刷部門「湖声社」も名を連ねています。

次号より「日本自費出版ネットワーク」のご協力のもと、会員企業が手がけた自費出版物を紹介していきます。乞うご期待！

FUJIFILM
Value from Innovation

スーパーワイドの 新基準



写真品質を実現する超高画質、高い生産性とコストの両立により、
今までにない高いパフォーマンスを発揮。
屋外サインから、店舗内用の高画質カラーコルトン、
内照式ソフトサイネージ、壁紙、ウィンドウグラフィックなど、
あらゆる高付加価値アプリケーションに応えます。

超高画質・高速UVインクジェットロールプリンター
Acuity Ultra 近日発売
3200Series 5000Series

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル ■お問い合わせ ワイドフォーマット営業部 TEL.03-6419-0850

アンケート第二弾「新型コロナによる影響は？」 66.7%が前年比売上 -20%以上と回答！

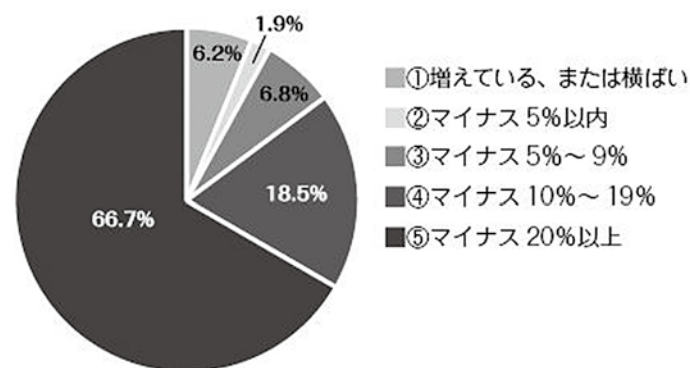
広報委員会が8月に緊急実施 / 162社が回答

ジャグラ広報委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大が、ジャグラ会員企業の経営にどれだけの影響を与えているかを把握するための第二弾アンケート調査を8月に緊急実施し、162社より回答を得ました。

それによると、ほとんどの企業の売上げが前年同月比マイナスとなっているという結果で、その中でも「20%以上売上げが減少した」企業の割合は66.7%にのぼるなど、多大なる影響で苦しんでいる現状が明らかになりました。

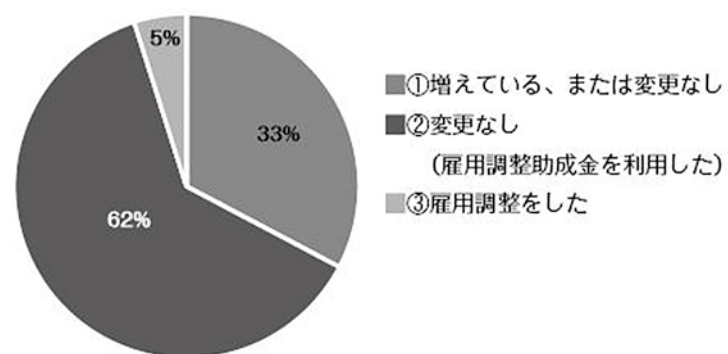
Q1 4～6月期の売上げはいかがですか？ もっとも近いものを一つ選んでください。 ※前年同月比または前期比等の体感でお答えください

項目	回答数	比率
①増えている、または横ばい	10	6.2%
②マイナス5%以内	3	1.9%
③マイナス5%～9%	11	6.8%
④マイナス10%～19%	30	18.5%
⑤マイナス20%以上	108	66.7%
総計	162	



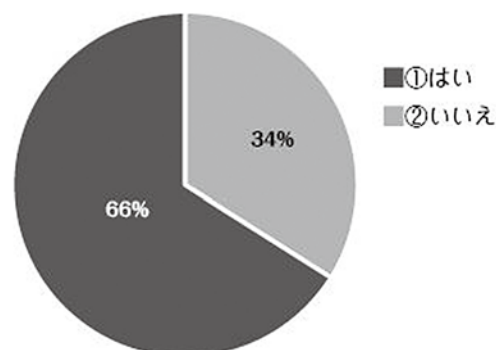
Q2 会社側都合による従業員の増減はありましたか？ もっとも近いものを一つ選んでください。

項目	回答数	比率
①増えている、または変更なし	53	33%
②変更なし（雇用調整助成金を利用）	101	62%
③雇用調整をした	8	5%
総計	162	

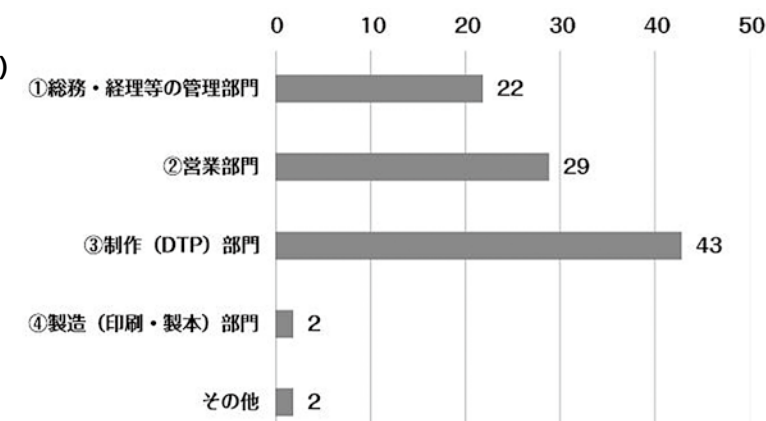


Q3 従業員のリモートワーク（テレワーク）は実施しましたか？

項目	回答数	比率
①はい	55	34%
②いいえ	107	66%
総計	162	

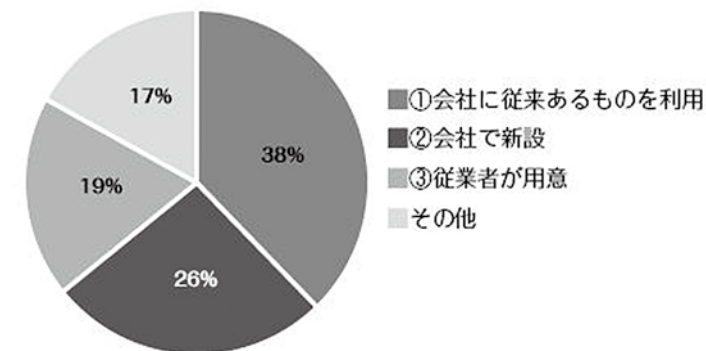


Q4 3の質問で「はい」と回答した方へ 実施した部門を選んでください（複数可）



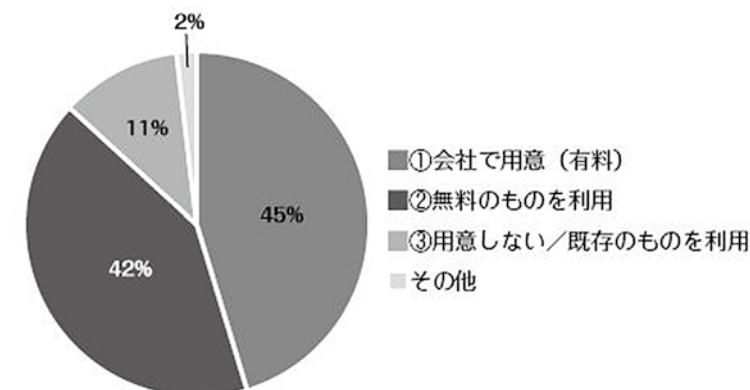
Q5 3の質問で「はい」と回答した方へ リモートワークの実施に際し、パソコンの用意はどうしましたか？

項目	回答数	比率
①会社で従来あるものを利用	20	38%
②会社で新設	14	26%
③従業員が用意	10	19%
その他	9	17%
総計	53	



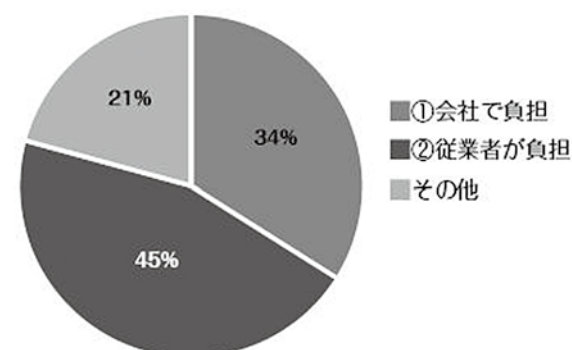
Q6 3の質問で「はい」と回答した方へ リモートワークの実施に際し、サーバー（クラウドストレージ等）の用意はどうしましたか？

項目	回答数	比率
①会社で用意（有料）	24	45%
②無料のものを利用	22	42%
③用意しない／既存のものを利用	6	11%
その他	1	2%
総計	53	



Q7 3の質問で「はい」と回答した方へ リモートワークの実施に際し、インターネット等回線の用意はどうしましたか？

項目	回答数	比率
①会社で負担	18	34%
②従業員が負担	24	45%
その他	11	21%
総計	53	



Q8 新型コロナの売上減に対し、実際に利用した補助金・支援制度はありますか？ 利用したものをすべて選んでください。

項目	回答数	項目	回答数
雇用調整助成金	84	特別定額給付金	59
新型コロナウイルス感染症特別貸付	59	小規模事業者持続化補助金	52
セーフティネット保証 4 号	41	家賃支援給付金	33
IT 導入補助金	10	納税猶予	9
固定資産税等の軽減	4	自治体独自の制度	4
持続化給付金	3	テレワーク助成金	2
セーフティネット保証 5 号	1	その他	1

Q9 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、新たに取り組んでいることはありますか？ お知らせできる範囲でご記入ください。(自由回答)

●衛生管理・健康管理

◎社内衛生体制の充実

◎従業員への新型コロナウイルス対策の徹底と周知

◎マスク着用、手洗い、うがい、消毒、換気の徹底

◎出入り口に消毒用アルコールの設置

◎帰宅後には手洗いうがいの指導

◎営業へはマスクの着用指示

◎在宅ワークとなり、メンタル面が心配なので産業医の利用を促進

●営業 / 経営・働き方・体制整備

◎県外取引の縮小

◎インターネットによる受注の強化 (SEO 対策・プレスリリースなど)

◎ホームページを作り替え、インターネットを利用した非対面での商取引が出来るよう、現在修正作業に取り組み、同業他社にないオリジナル商品を開発中

◎時差出勤、感染疑いの状況での出勤停止について、就業規則で整備

◎業務マニュアルを動画化し新しい仕事にも取り掛かれるようにしている

◎週休3～4日制 (雇用調整助成金利用)

◎時差出勤や交代制出勤

◎非対面型営業の実践、納品は全て宅配便等を使う

◎営業・配送ともに直行直帰、残業をなくして早期退社を推進している

◎隔週による臨時分業体制方法、就業規則の見直し・改定、キャッシュインのための物販 (フェイスシールド・シールドパネルほか)

◎これを機に働き方改革を実施して、より働きやすい職場を目指しています

◎当社の得意先は官公庁と学校関係が 90%なので、安心してご発注いただけるよう、「このような点に留意しています」という情報をお届けしています

◎労働生産性の向上

◎経費削減、人件費削減

◎事業継続規程の再整備

●オフィス環境

◎オフィスのレイアウト変更

◎空気清浄機の新設等、職場内のコロナ感染症対応をさらに進めているのに加え、影響の長期化に備え事業面では WEB 受注を強化中

◎県指導のもと各出入口に掲示板を表示

◎滋賀県のコロナ対策実施店ステッカーを貼って来訪者への注意喚起、ラインを使つての動向確認、移動履歴情報の把握 (社員全員ライン取得)

◎各デスクに飛沫感染対策としてアクリル板を設置、今後は営業・総務部も順次テレワークを進める

●テレワーク、IT化など

◎テレワークの勤怠管理システム

◎テレワーク、時差出勤、消毒推奨、定期的な換気等、マスク着用推奨情報共有手段やワークフローの IT 化

◎従業員面談はオンラインで実施

◎会議はすべてオンライン (報告事項は事前録画)

◎朝礼を Zoom で行うようにしました

◎ Zoom を利用した会議等の動画や YouTube 配信の取り組み

●新事業・新分野への挑戦

◎新事業への進出 (取組中)

◎新事業として、「動画広告事業」に取り組んでいる

◎印刷関連のみでなく、他業種の販売に着手しはじめた

◎新型コロナとは関係なく、新規事業に取り組んでいる

◎マナーウォールの販売

◎今までとは異なる分野の顧客へのアプローチ

◎デザインや発想力を生かした紙以外のオリジナル商品の開発、提案

◎周辺でも感染者が増加しており、従業員、来訪者の検温、体調チェック、消毒、換気等対策を強化している

◎補助金などを活用できるサービスのパッケージ化・販売

◎販路開拓の補助金の利用を促して顧客創出し、新しい事業の展開を模索中

◎ドローンを使った営業展開の模索、抗菌加工をした新商品の開拓

◎使い捨てのマスクケースを作ってみました、受注は微々

活用していますか？ 雇用調整助成金の申請が簡素化されました

先日、あるジャグラ役員より、「雇用調整助成金を活用していない会社が多いのではない？ 再度周知して欲しい」との要望がありました。「当初難しかった申請も簡略化され、社労士を使わなくても十数分で申請書を作成できる。1人1日1万5000円もらえるので使わない手はない」とのこと。是非、対象の会員事業者はご利用ください。

×

雇用調整助成金は、事業主が労働者に休業手当等を支払う場合、その一部を助成する制度です。特例措置により助成率及び上限額の引き上げを行っています。1人1日1万5000円を上限額として、労働者に支払う休業手当等のうち最大10分の10(10割)が助成されます。(教育訓練を実施した場合は更に、教育訓練を受けた労働者一人につき日額最大2400円が加算されます)

■ 助成率＝中小企業の場合

①解雇等を行わず雇用を維持した場合＝10分の10(10割)
②それ以外の場合＝5分の4

※注意点：学生アルバイトなど、雇用保険被保険者以外の方に対する休業手当等も助成対象になります。助成の元は別ですが、助成の内容・申請先は雇用調整助成金と同様です。

■ 支給対象となる事業主

新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置では、以下の条件を満たす全ての業種の事業主を対象としています。

コロナ禍の影響は？ アンケート第二弾を実施！

たるものです。他に何をしてよいか分かりません

◎マスクケースの受注

◎ソーシャルディスタンス&フェースガード関連商品の販売、CSR活動の一環として地域施設への寄付用マスク製作

◎新商品の開発 (抗菌印刷・抗菌うちわ等)

◎飛沫防止スタンドやフェイスマスクなどコロナ対策製品を扱っている

◎幸い当社は「ノート」や「エコバッグ」などのオリジナル商品を持っているので、それをSNSで発信し、けっこう日本全国から注文を受けたので、これを推し進めていきます

◎コロナ関連商品の製造販売 (マスク・消毒液の販売、透明バリアの製造販売・除菌加工の施工等)

●打つ手なし、その他

◎名ばかりのコロナ関連の制度融資は全て断られ資金繰りに時間が取られそれどころではないのが現状

◎打つ手無し、じつとがまん

◎新たには、取り組んでいない

①新型コロナウイルス感染症の影響により経営環境が悪化し、事業活動が縮小している
②最近1か月間の売上高または生産量などが前年同月比5%以上減少している (比較対象とする月についても、柔軟な取扱いとする特例措置があります)
③労使間の協定に基づき休業などを実施し、休業手当を支払っている

■ 助成対象となる労働者

事業主に雇用された雇用保険被保険者に対する休業手当などが、「雇用調整助成金」の助成対象です。

学生アルバイトなど、雇用保険被保険者以外の方に対する休業手当は、「緊急雇用安定助成金」の助成対象となります。(雇用調整助成金と同様に申請できます)

■ 支給限度日数

本助成金の支給限度日数は原則として1年間で100日分、3年で150日分ですが、緊急対応期間中(令和2年4月1日～令和2年9月30日)に実施した休業などは、この支給限度日数とは別に支給を受けることができます。

■ 申請書

申請書等は、厚生労働省の下記ホームページからダウンロードできます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07.html

Horizon
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



四六判半裁全自動紙折機+横型プレススタッカー
AFC-566FKT+PST-44

大型カラータッチパネルを搭載し、用紙を1枚挟むだけで、全ての設定を数十秒で行います。便利なワイヤレスリモコンを標準装備し、操作パネルから離れている場所でも操作できます。



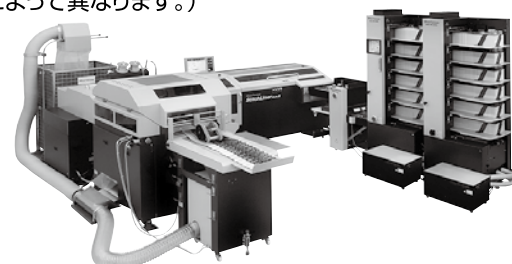
自動無線綴機4クランプタイプ
BQ-480

セット替えの高速化による、小ロット、バリエブル製本での高生産性を実現。1冊ずつ厚みの異なるバリエブル製本を最高で時間800冊で処理することが可能です。



ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム
StitchLiner MarkⅢ

厚みの異なる冊子に応じて各部を自動で調整、作業を中断することなく安定した高品質な製本を実現。A4S綴じ冊子は最高6,000冊/時間、A4E綴じ冊子は最高5,300冊/時間で処理することが可能です。(製本速度は紙質や紙の厚さによって異なります。)



全油圧断裁機
APC-610

幅61cm、厚さ10cmまで一度に断裁でき、プレッシャとともに、カッティングも油圧式で強力です。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03(3863)5361(代) FAX.03(3863)5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083
京都支社 〒601-8206 京都市南区久世大藪町510 TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092(626)8111(代) FAX.092(626)8112

KOMORI

高品位フルカラーデジタル印刷機

Impremia C Series

インプレミアCシリーズは、KOMORIブランドの高品位フルカラーデジタル印刷機です。当社開発のカラーマッチングソフトウェアK-ColorSimulator 2との運用でオフセット印刷との容易なカラーマッチングを実現します。プロフェッショナルプリンティングの世界で求められるハイレベルなニーズに呼応。オフセット印刷に迫る高画質・高精細出力、美しさが変わらない卓越した画像安定性、広範な用紙対応力、そして付加価値を高めるフィニッシャー群を有し、高度な製品技術力と新たなワークフローによるトータルソリューションで、印刷事業における新しい価値を創造し、イノベーションをもたらします。

その仕事、
**KOMORIのPODに
お任せください!**

POD特設サイトにて
ラインアップ・活用事例を紹介中



D i g i t a l O n D e m a n d : T h e N e x t K o m o r i S o l u t i o n

KOMORI CORPORATION
www.komori.com

株式会社 小森コーポレーション
本社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806

委員会通信 ジャグラの活動報告です

生産性向上委員会、マーケティング委員会、経営技術研究委員会

7.15 生産性向上委員会 第一回議事録

同日、ネット会議で開催。

1. 委員会活動について

1) 委員会の目的について

宮崎副会長より、経営基盤事業に関する説明と生産性向上委員会の目的について説明があった。本委員会では、管理会計を基盤として生産性向上へ積極的に取り組む会員企業を増やしていくことを目標に、下記2点を中心に活動することとなった。

→1日目：生産性向上へ取り組む会員企業向けのセミナー実施（年3回）

→2日目：新しく生産性向上へ取り組む会員企業を訪問取材(情報発信)

2)「生産性向上部会」からの引き継ぎについて

昨年度まで活動していた「生産性向上部会」の部会長を務めた笹岡理事より、旧部会が作成したデータベースについて説明があった。本データベースは、ジャグラ会員企業の生産性向上に関する取り組み内容と効果測定を調査する目的で作成され、部会から依頼を受けた一部の会員企業が入力した状態となっている。データベースはクラウド上で動作し、ID/PWを入力することでWeb上から閲覧・編集ができる。このデータベースを、今後生産性向上委員会 dengan 活用するか検討した。

【決定事項】

→データベースは現生産性向上委員会が引き継ぎ、今後も活用していく。

→笹岡理事より、現生産性向上委員会メンバーに対してデータベースのID/PWを付与してもらい、委員各社が入力する。

【主な意見】

◎ゆくゆくは全会員にデータベースへ入力してもらい、集めた情報を集約し配布していけたらよい。

2. 今後の活動予定

稲満委員長より、今後の活動予定について説明があった。内容としては、生産性向上委員会メンバーが自社でそれぞれ管理会計を主体とする生産性向上に取り組み、3か月ごとに効果測定した結果を発表、その後の1か月でセミナー等に落とし込んでいくという、4か月単位での活動サイクルで進めたいというもの。

【決定事項】

→生産性向上への理解を深めるため、委員全員がジャグラBBで配信している稲満委員長の生産性向上事例発表をで視聴する。

→7月下旬を目途に、稲満委員長講師による管理会計に関するオンラインセミナーを委員会メンバー向けに開催する。

→委員会に副委員長を置くこととなり、瀬尾淳委員（広島）が副委員長に指名された。

3. 全国協議会の実施について

宮崎副会長より、ジャグラ全国協議会について説明があった。今年の全国協議会は11月13日・14日の開催を予定しており、「コロナ禍を強かに生き抜こう！～各社が出来る経営戦術」を仮テーマとして、企画運営を生産性向上委員会・経営技術研究委員会が担当する。内容としては、セミナーとテーブルディスカッションを考えているが、コロナの影響で企画内容が大きく変更される可能性がある。

【決定事項】

→テーブルディスカッションを実施する場合、各テーブルにリーダーが必要となるが、東京グラフィックスでリーダー候補を集めてもらうこととなった。

→全国協議会の開催形式が決定次第、委員会として対応する。

4. SPACE-21 キャラバンについて

宮崎副会長より、ジャグラ青年部SPACE-21が企画している全国キャラバンについて説明があった。本キャラバンは①生産性向上、②働き方改革、③POD、をテーマとしている。テーマが生産性向上であるため、今後委員会とセミナーを共催するなど、連携を検討する。

以上

出席者
委員長：稲満信祐
副会長：宮崎真
委員：武川優、岸徹、熊谷健司、笹井靖夫、瀬尾淳
理事：笹岡誠

7.21 マーケティング委員会 第一回議事録

同日、ネット会議で開催。

1. 委員会活動について

1) 委員会の目的について

齋藤委員長より、マーケティング委員会の活動内容について説明があった。本委員会では、前期マーケティング部会の活動を引き継ぎ、業態変革と新市場の開拓を目標に、以下2点を中心に活動する。

→前期マーケティング部会が作成した、印刷会社の業務を見える化するツール「サークル曼荼羅」をブラッシュアップし、完成させる。

→「元気な会社」を選定し、ヒアリングと、数値的な面も含め分析を行う。

【主な意見・質問】

◎サークル曼荼羅は、印刷会社が普段行っている一般的な業務スキルを細分化したものだが、情報分野（データ入力、データ加工等）、ドローン、動画編集など、一般的とは言い難い専門スキルも項目に含まれている。専門的な項目は曼荼羅から除外した方がいいのだろうか？

◎情報分野のスキルについては、地域によっても違いがある。東京では分業が進んでいるので、データ入力専門業者も存在するが、地方では自社内で対応できないと仕事にならない。

2. 今後の活動について

齋藤委員長より、前期マーケティング部会が行った元気な会社のヒアリングについて説明があった。前期は2社にヒアリングを実施し、2社が行っている業務をサークル曼荼羅に沿ってリスト化しただが、座談会のような形式で聞き取りを行ったため、数値的な分析を行うまでには至らなかった。今期は、事前にヒアリングシートを作成し、分析に必要な項目をすべて聞き出すかたちで実施するため、ヒアリング項目を検討することとなった。

【決定事項】

→ヒアリングは50社を目標とする。

→次回委員会までに、質問内容をまとめたヒアリングシートを作成する。

→次回委員会までに、ヒアリング候補となる会社をリストアップする（全体で50件以上候補が必要）。

【主な意見・質問】

◎利益を生み出す仕組みをどのように構築したか、その仕事をどのようなきっかけで受注し、どのように売上げが上がっていったのかをヒアリングしたい。

◎主力業務について、売上げはいくらで経費はいくらか、具体的な数字を知りたい。

◎主力業務、利益構造、社内体制、市場などをヒアリング項目

に追加してはどうか。

◎曼荼羅で該当する業務をヒアリング対象企業自身にチェックしてもらってはどうか。

◎曼荼羅をヒアリングに活用するのであれば、曼荼羅の項目は一般的な業務のみとし、情報分野、ドローン、動画編集などの特殊分野は除外した方がいいのではないか。

◎元気な会社をヒアリングする際、サークル曼荼羅に当てはまらないスキルがあるかどうか、ある場合、そのスキルは何かをまず探ることが必要ではないか。曼荼羅の外側に何かがあるのか探るのが大事である。

◎主力業務を聞くより、チャレンジしている業務は何か、印刷会社らしくない業務を行っているかを聞いた方がいいのではないか。

◎お金を継続的に儲けられる仕事とは何か、それが会員にとって必要な情報である。成功事例をビジネスモデルとして冊子等にまとめ配布することを目標としたい。

◎顧客は誰か・どう差別化しているか・どのように価値を提供しているか・なぜ儲かっているのか この4点はヒアリング基本項目として必須である。

◎経済産業省が配布している企業健康診断ツールであるローカルベンチマークを活用してはどうか。

◎ローカルベンチマークをそのまま使用するのは難しいが、ベンチマークシート内の②の事業の項目はそのまま使用してもいいのではないか。

以上

出席者
委員長：齋藤秀勝
副会長：岡本泰
委員：萩原直基、吉澤和江、田治宏敬、松下忠、山本康彦

7.27 経営技術研究委員会 第一回議事録

同日、ネット会議で開催。

1. 委員会活動について

1) 委員会の目的について

向井委員長より、経営技術研究委員会の活動内容について説明があった。本委員会では、以下の活動を行う。

→中小企業に適した働き方改革の提案をすべく、モデルとなる企業を取材する。

→取材した内容を機関誌、ジャグラBBにてアウトプットする。

→全国で働き方改革セミナーを実施する。

【決定事項】

→委員会に副委員長を置くこととなり、樋貝浩久理事が副委員長に指名された。

【主な意見】

◎ジャグラ会員は10名以下の会社が多いため、同じような社員数の会社を取材先として選ぶ方がよいのではないか。

◎各社がコロナにどのように対応しているかも知りたい。

2. 今後の活動予定

向井委員長より、今後の活動予定について説明があり、取材先企業のピックアップを進めることとなった。

【決定事項】

→委員を北日本・中日本・西日本の3ブロックに分け、各ブロックごとに取材先の候補となる企業を次回までにピックアップする。各ブロック担当は、北日本：向井・渡辺・熊谷、中日本：樋貝・稲本・竹内、西日本：宮崎・安達とする。

→ヒアリング項目を次回までに各自考えておく。

→取材先企業が決定するまでは、月1回ネットで委員会を開催する。

【主な意見】

◎生産性向上委員会と活動内容が重複しないようにすべき。

◎生産性向上委員会とのすみ分けとして、本委員会は「会社を守る」ための取り組みを研究するということにしようか。

◎コロナに関するアンケート調査を行ってはどうか。

◎広報委員会でコロナに関するアンケートを実施する予定がある。アンケートで聞きたい項目があったら参考までに意見が欲しい。

3. 全国協議会の実施について

宮崎副会長より、ジャグラ全国協議会について説明があった。

今年の全国協議会は11月13・14日の開催を予定しており、「コロナ禍を強かに生き抜こう！～各社が出来る経営戦術」を仮テーマとして、企画運営を生産性向上委員会・経営技術研究委員会が担当する。内容としては、セミナーとテーブルディスカッションを考えているが、コロナの影響で企画内容が大きく変更される可能性がある。

【決定事項】

→テーブルディスカッションを実施する場合、各テーブルにリーダーが必要となるが、東京グラフィックスでリーダー候補を集めてもらうこととなった。

→全国協議会の開催形式が決定次第、委員会として対応する。

4. SPACE-21キャラバンについて

宮崎副会長より、ジャグラ青年部SPACE-21が企画している全国キャラバンについて説明があった。

本キャラバンは、①生産性向上②働き方改革③PODをテーマとしている（事前送付PDF別添資料P8-9参照）。テーマが生産性向上であるため、今後委員会とセミナーを共催するなど、連携を検討する。

以上

出席者

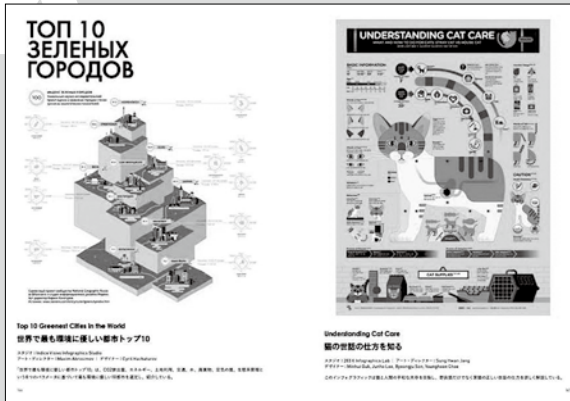
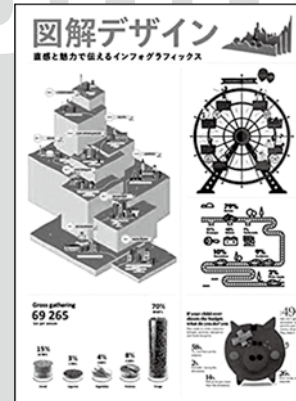
委員長：向井一澄

副会長：宮崎真

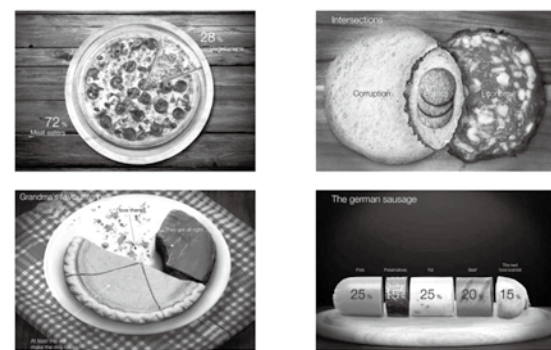
委員：渡辺辰美、熊谷晴樹、樋貝浩久、稲本創、竹内正敏、安達睦男

直感と魅力で伝えるインフォグラフィックス 図解デザイン グラフィック社

世界20か国以上から選りすぐられたインフォグラフィックスを紹介した書。いかに情報を濃縮し、汎用性を高めるかがインフォグラフィックスのカギ。本書は、環境、科学、文化、社会、経済など様々な分野で活用される優秀作200点以上を収録。各作品は、イラスト、断面図、幾何学図形、実写など、あらゆるタイプのデザイン手法を採用しており、そのバラエティーは、すべてのクリエイターに役立つヒントの宝庫といえるだろう。



- 発売 2020年7月
- 仕様 B5変形、並製、208ページ
- 定価 3900円(税別)
- 出版 グラフィック社
- その他 ISBN978-4-7661-3426-1



TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月～金) 9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
http://www.lithmatic.net

ジャグラBB / Zoomオンラインセミナーのご案内 「スマホでかんたん動画作成セミナー」 10.7 (水) 17:00 ~ / 受講費無料 ジャグラ会員限定



▼受講登録フォームはこちらから
<https://55auto.biz/jagra/touroku/sp/thread38.htm>

ジャグラBB委員会(委員長:原田大輔理事)は、Zoomによるオンラインセミナー「スマホでかんたん動画作成セミナー」を開催します。

×

スマホのカメラは日々高性能化していますが、撮影データはスマホの中に眠らせたまま、いまひとつ活用できていない方も多いのではないのでしょうか。本講座では、スマホのカメラ機能と、Adobe Creative Cloudのサブスクリプションで利用できる動画編集アプリ「Adobe Premiere Rush」を使用し、プロモーションビデオを作成する手順について解説します。また、作成したビデオを送信する方法、YouTubeへのアップロード方法についても解説します。

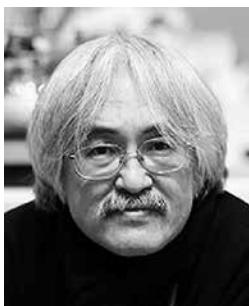
開催概要

開催日 2020年10月7日(水) 17:00 ~ 18:30
会場 Zoomによるオンライン開催
※セミナー参加用 Zoom URL は、後日参加登録時のメールアドレス宛に通知します
対象 スマートフォンで動画を作成してみたい方
条件 ジャグラ会員企業であること(会員外参加不可)
参加費 無料
主催 ジャグラBB委員会
その他 ※セミナーの様子は録画・再編集したうえで、後日、ジャグラBBで配信する予定です。

講師紹介

阿部信行(あべのふゆき)

(株)スタック代表取締役。ジャグラDTPスクールにてビデオ講座を担当。千葉県出身。テクニカルライター。生活・ビジネス系の雑誌・ムックの編集者を経て、テクニカルライティングをはじめ、OfficeからJava、3Dアプリケーションなど多種多様なソフトウェアの活用方法を、書籍や雑誌、Webで紹介しているコンビニ・ライターでもある。



内容(予定)

- ①スマホのビデオ設定
 - ②スマホで撮影するときのポイント
 - ③デジカメ用三脚を利用して撮影する
 - ④撮影した映像を編集する
 - ⑤Premiere Rushのインストール
 - ⑥Premiere Rushでの編集作業
 - ⑦PCとの連携
 - ⑧動画をPCへ転送する
 - ⑨動画をYouTubeにアップロードする ほか
- ※本セミナーは座学形式で実施します。スマートフォンで一緒に操作しながらセミナーを受講していただくことは可能ですが、操作がスムーズにできなかった際のフォロー、ご質問はお受けできませんので、ご了承ください。

申込み・問い合わせ

- ①上記URLのセミナー受講登録フォームよりお申し込みください。
- ②先着順による受付となります。定員になり次第締め切らせていただきます。
- ③参加登録したご本人のみご参加いただけます。
- ④ジャグラ会員のみご参加いただけます。
- ⑤Zoomによるオンラインセミナー参加には、インターネット回線と、Zoom用アプリがインストールされたPC、タブレット、スマートフォンのいずれかが必要です。
- ⑥参加時のインターネット、端末の環境整備はご参加者側で行ってください。

●問い合わせ

ジャグラ事務局 / ジャグラBB 担当まで
電話: 03-3667-2271 FAX: 03-3661-9006

クリエイティブの楽しさをすべての人に Adobe MAX 2020 10.21-23 にオンライン開催!



参加費無料 / 事前に下記サイトにてご登録ください

米アドビ社は、10月21~23日の3日間、クリエイターやクリエイティブを愛する幅広い方々を対象としたオンラインイベント「Adobe MAX 2020」を開催します。

×

例年、米国ロサンゼルスで開催し、世界中からクリエイターが集まる Adobe MAX ですが、今年は56時間にわたるオンラインイベントとして開催されます。日本はもちろん、世界中からアイデアや制作テクニックが集まり、インスピレーションと学びの機会を詰め込んだ、どなたでも無料でご参加いただけるイベントです。

第一線で活躍するクリエイターたちの講演、SNEAKS(未公開テクノロジーの先行公開)に加え、著名人の出演やミュージックパフォーマンスなど、見逃せないプログラムが満載です。Adobe MAX は今年もクリエイティブの楽しさをすべての人にお届けします。

概要

開催日 10月21~23日の3日間(日本時間)
開催場所 オンライン
参加費用 無料 / 事前に下記サイトにて登録が必要です
<https://maxjapan.adobe.com/>
プログラム ①キーノート、②セッション、③SNEAKS(未公開テクノロジーの先行公開)、④著名人の出演、⑤ミュージックパフォーマンス、⑥その他色々

おすすめポイント

- ①参加無料!
- ②多彩なスピーカー: デザイン、写真、イラストなど、様々な分野のエキスパートが登場
- ③世界のクリエイティブトレンドを掴む: 日本だけでなく、世界のクリエイティブなセッションに参加できます。すべての英語セッションは日本語字幕付きでご覧いただけます。



- ④どこからでも参加可能: オンラインイベントのため参加場所を選びません。
- ⑤バーチャルで繋がる: イベント当日はライブチャットや、共同プロジェクトで世界中のクリエイターと繋がる機会もご用意しています。
- ⑥楽しく学ぶ: キャリアアップやスキルの向上に役立ちます。

ジャグラ関係者もセッションに出演します!

ジャグラDTPスクールの鷹野雅弘先生(スイッチ)が22日・14~14時半(S9007)、2代目InDesignマイスターの戸田大作氏(日経印刷)が22日・15~15時半(S9040)のセッションに出演します。お見逃しなく!

◀参加ご希望の方は、こちらのサイトより事前に登録してください



ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアートを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション & リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

○研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
○会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社
<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2 丁目 7 番 8 号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

| 連 載 |

経済産業省の調査報告書より

| 図 説 | 印刷産業における取引環境実態調査

第3回：印刷企業のPL(損益計算書)構造



本誌では7月号より、経済産業省が「印刷産業の取引実態の現状を把握し、持続可能な印刷産業への方策を探る」ためにまとめた報告書を短期連載しています。この報告書は、学識経験者および日印産連傘下10団体から派遣された代表者（ジャグラは中村盟理事を派遣）によって、「印刷産業の底上げ」のためにはどのような方策があるか、検討会を開催して最終的にまとめられたもので、印刷会社の今後の経営計画立案に非常に参考になるデータが多く示されています。今月は「印刷企業のPL(損益計算書)構造」の部分から、主要なデータを抜粋して紹介します。

×

報告書では本章の冒頭にサマリー（要約）が記されていますので、先ずそれを紹介します。

印刷会社のPL構造（サマリー）

3割の事業者で営利率はマイナス

また、経年で売上・営利率とも悪化

但し、業界平均を上回る小規模事業者も一定数存在

◎2018年度は事業者の3割が営利率マイナス、経年では売上・営利率とも悪化傾向

①2014-2018年度の売上高の年平均成長率は平均マイナス1.6%、6割の企業で売上減少

②営利率は平均0.9%、3割の企業で2018年度の営利率はマイナス

◎需要量そのものの減少も大きい、受注単価の下落も要因

①34%の事業者が5年前と比べ「受注単価は下落」と回答

②ネット通販印刷の価格表に基づく顧客からの値下げ要請や、元請からの案件数・単価低迷などが背景

③「受注単価は向上」と回答した事業者も、原材料高騰の転嫁が要因で、利益改善への効果は限定的

◎一方、売上を伸ばしながら高営利率を維持する高水準企業も規模に関わらず存在

①上記売上高の年平均成長率平均および2018年度営利率平均を上回る群には、小規模事業者も一定数存在

・従業員数3人以下では3社（10社中）

・従業員数3～9人では12社（25社中）

・従業員数10～19人では5社（20社中）

「印刷産業における取引環境実態調査」に関する報告書

経済産業省 HP よりダウンロード可能

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/contents/2019_printing_surveyreport.html



印刷会社の P L 構造①

売上高は微減傾向

6 割の事業者で売上は減少しており、傾向は業界全体のトレンド化

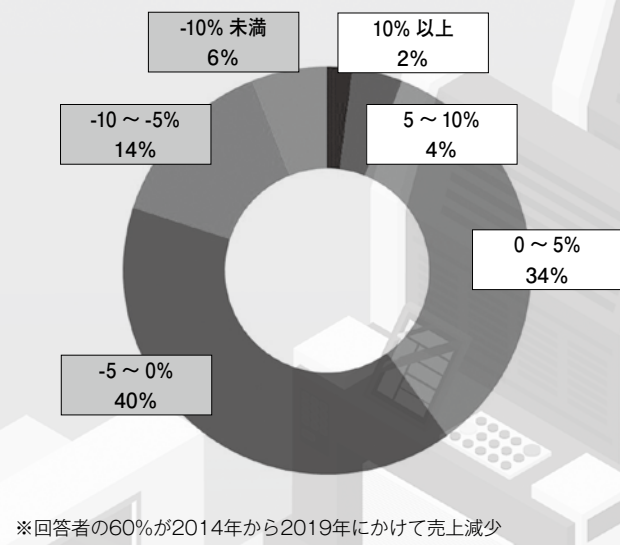
●売上高の構成比推移（N=142）

●売上高の年平均成長率の構成比



※売上 5 億円以上のプレイヤーが減少

※外れ値を除くため記入した営業利率の値が、記入した売上・費用の値から求めた値と誤差 10% 以内に収まる回答のみを採用（N=142）



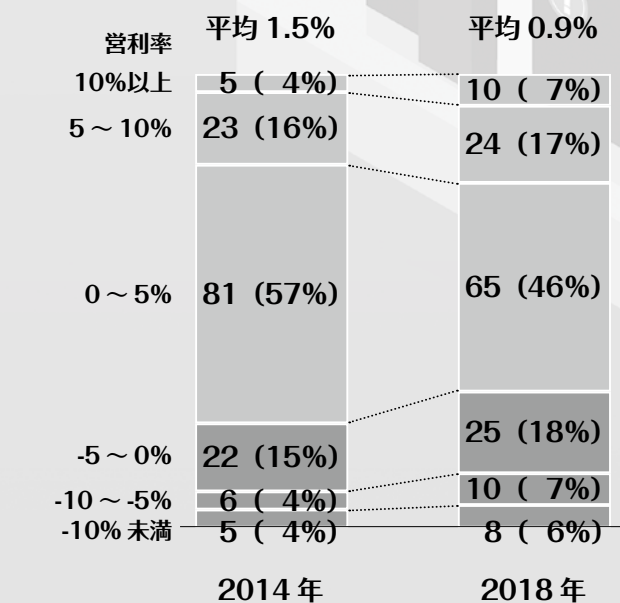
印刷会社の P L 構造②

約 3 割の事業者で営業利率はマイナス

過去比でも営業利率は悪化している

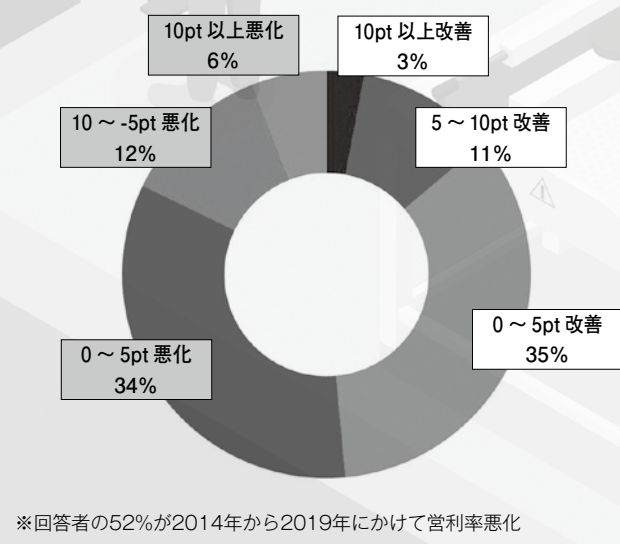
●営業利率の構成比と推移（N=142）

●営業利率の経年差分の構成比



※2018 年度は、回答者の 31% で営業利益率がマイナス

※外れ値を除くため記入した営業利率の値が、記入した売上・費用の値から求めた値と誤差 10% 以内に収まる回答のみを採用（N=142）



印刷会社の P L 構造③

背景に需要減だけでなく、受注単価の下落も存在

単価を高められている事業者も、実態は原材料高騰の転嫁に留まる

●2014 年と比べた 2018 年の受注単価（N=941、SA）

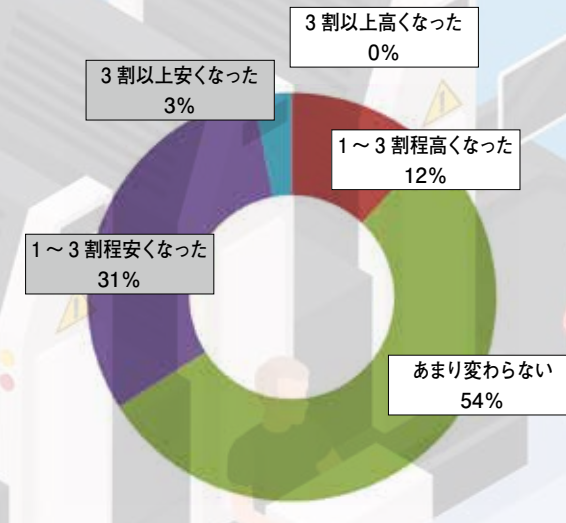
■単価推移の背景（自由記述コメント）

◎単価向上の背景

- 原材料高騰を受けての価格転嫁（回答者のほとんどのコメント）
- 値上げ交渉の成果
- 印刷以外のソフトサービスの付加

◎単価下落の背景

- 値下げ攻勢の高まり
- 入札・相見積の増加、ネット通販印刷との価格比較、顧客側の経営悪化・予算削減
- 官公需の単価の低さ
- 最低価格制度が無いこと、実勢価格との乖離
- 需要の減少
- ペーパーレス化、顧客側での印刷内製化、元請からの発注量減少
- 顧客との関係性維持
- 元請からの受注価格減、継続受注のための値下げ



印刷会社の P L 構造④

6 割の事業者は原価計算に基づいて単価を定めると回答

但し、正しい数値管理が十分に出来ていないことが想定される

●単価向上の工夫（N=879、MA）

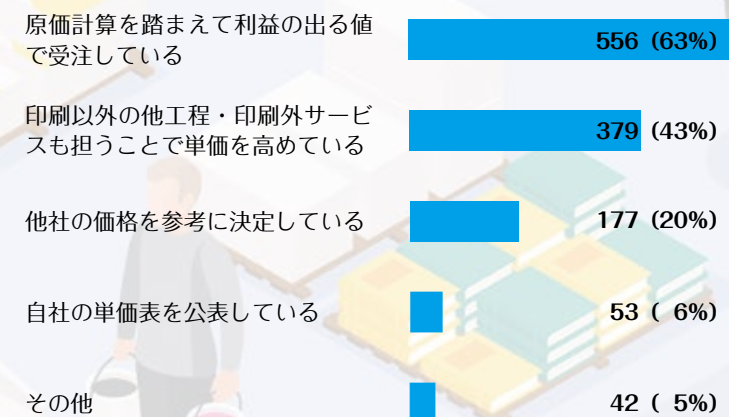
■原価計算に係る課題（自由記述コメント）

◎工程別課題として収益管理に課題意識と 34% が回答

◎原価計算について、以下の自由記述回答あり

- 品目ごとの損益がよくわからない
- 月次で締めて、はじめて儲かったか分かる
- 原価、収支の周知がされていない
- 原価計算がしっかりできない / 昔から安い単価で受注
- 労組役員、先生達が独立してやり、印刷界の生活を悪くした
- 原価計算（当社独自）と実収益が合わない

経営指標の ROI（投資資本利益率 / 費用対効果）及び固定費・変動費などの数値管理が十分に出来ている企業は少ないと想定される



※単価向上の工夫として、6 割の事業者は「原価計算」を踏まえると回答

印刷会社の P L 構造⑤

費用構造は右記

経年で大きな変化は見られない

●印刷企業の費用構造（N=94、数値記入）

	製造原価				販管費
	外注加工費	材料費	労務費	減価償却費 その他 原価	販管費
2018	20.1%	20.7%	21.2%	8.9% 3.2%	25.9%
2014	20.3%	21.9%	20.2%	8.9% 3.4%	25.3%

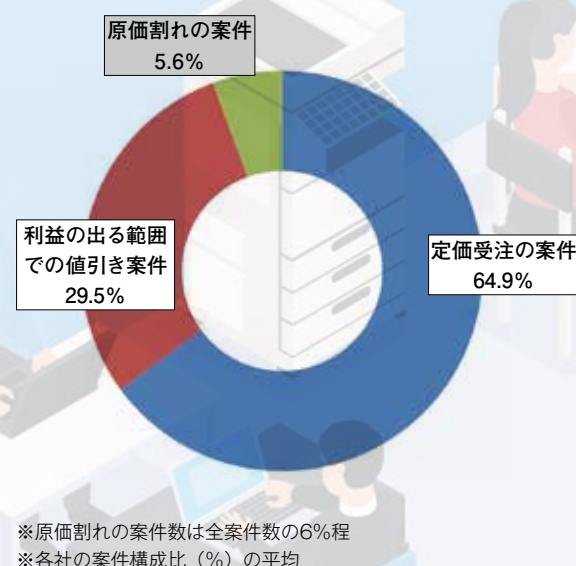
※各社の構成比を平均して計算

印刷会社の P L 構造⑥

原価割れの案件数は6%程と見られる

顧客・競合の攻勢から受注のために値引かざるを得ない局面が存在

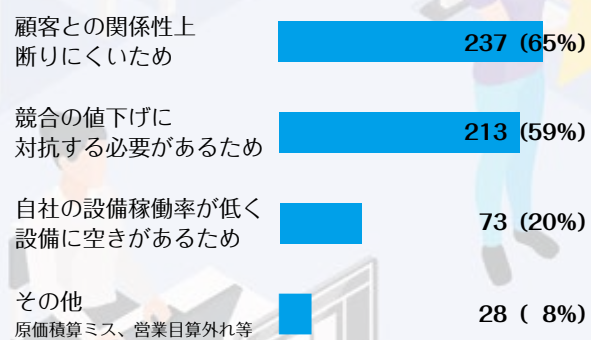
●値下げする案件数の構成比 (N=557、SA)



●原価割れの生じる背景 (N=364、MA)

◎顧客との関係性上、安価受注せざるを得ない場面も

- 他案件との兼ね合い
- 原材料費高騰の価格転嫁の難しさ
- ネット通販との価格比較に基づく値下げ要請など



■その他 (自由記述コメント)

◎域外からの参入

- 当該自治体テリトリー外からの大手参入により価格破壊が生じている
- 市内業者等、自治体行政が取れる優遇はほとんどなく、安価入札者優先の状況
- 地元業者を守る姿勢が見られない

◎適正価格と予算 (または入札額) の乖離

- 適切な予定価格を事前に出しても、結局最後は入札なので意味がない
- 競合他社が原価を無視した概算見積りを入れて、その価格で予算組みされてしまう
- 発注元の自治体が前年度予算以上の予算を見ないため、原材料費の値上げがあっても、前年度以下の予算で決められる
- 根拠のない予定価格 (毎年、数 % 低減)
- 最新の実勢価格の調査をネット通販印刷に依存し、適切な積算がなされていない

◎制度の不機能

- 県庁は最低制限価格制度を導入しているが、対象を 250 万円以上としているため、機能していない
- 制度としての最低制限価格制度は導入されているが、ほとんど機能していない

次回へ続く

業・界・の・動・き

ジャグラ関連 | 日印産連 | 印刷業界全般 | 行政情報 etc.

日印産連

「印刷の月」 ジャグラから菅野・中越・後藤各氏が 日印産連より表彰される (株)文伸は G P マーク普及準大賞を受賞

ジャグラなど印刷関連 10 団体で組織する一般社団法人日本印刷産業連合会 (日印産連) は毎年 9 月を「印刷の月」と定め、業界功労者を表彰していますが、今年度はジャグラから菅野・中越・後藤各氏が表彰されました。また、(株)文伸 (東京・三多摩) が昨年に引き続き GP マーク普及準大賞を受賞しました。なお、式典 / 表彰式は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

×

印刷功労賞

菅 野 潔 (前副会長)

平成 10 年 9 月より長年にわたりジャグラ副会長、理事を歴任。平成 20 年 6 月よりジャグラ環境委員会委員長を務める。平成 28 年 6 月よりジャグラ副会長および東京グラフィックの会長を務め、グラフィックサービス業の振興と発展に寄与した。また、平成 12 年 8 月より日本印刷産業連合会の環境委員会委員 (現地球環境委員会)、平成 20 年 6 月よりグリーンプリンティング購入検討会委員長を務め、中小印刷業の環境への取り組みに大きく貢献した。



印刷振興賞

中 越 忠 男 (前副会長)

平成 26 年 6 月から現在まで、ジャグラの副会長、理事を務める。また、四国地協会長として、四国地協の組織拡大および活性化に貢献した。中小印刷業界の組織拡大、基盤強化に尽力するなど業界の発展に寄与した功績は多大である。



印刷振興賞

後 藤 卓 也 (元理事)

平成 18 年 9 月より 22 年 6 月まで理事を務めるほか、平成 13 年より現在まで山形県支部長として組織拡大、活性化に尽力する。また、平成 8 年に設立された「山形謄写印刷資料館」を運営し、平成 28 年よりジャグラ機関誌に「温孔知新」と題し、謄写印刷について紹介した連載を 25 回に亘って掲載、令和 2 年 7 月にはそれらを 1 冊の本として出版した。謄写印刷の文化や歴史を現在に伝える功績は多大である。



G P マーク関連表彰

2020 年度の「GP 環境大賞」「GP マーク普及大賞」「GP 資機材環境大賞」受賞者を決定しました。今回、ジャグラ会員では(株)文伸 (東京・三多摩) が昨年に引き続き GP 普及準大賞を受賞されました。GP マーク普及大賞は、GP マーク表示印刷製品をより多く受注し、GP マークの普及に貢献した GP 認定工場 (印刷会社) に授与するものです。

※環境優良工場表彰は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で現地審査が行うことができず、延期となりました。

版画と謄写とこれから

第4回：和紙とゲステットナー、タイプ原紙による制作



Atelier 10-48 主宰 / 版画家 **神崎 智子**

謄写版の「ロウ原紙」とはまた別の原紙「タイプ原紙（またはボールペン原紙）」があります。鉄ヤスリを必要としない製版が可能で、タイプライターや鉄筆などで製版できる原紙です。その原紙を使った版画作品も私の書籍のほうでも紹介していきまして、今回はそのタイプ原紙について、タイプ原紙と和紙（ゲステットナーの原紙）、版画作品のことについて記していきます。

タイプ原紙——青色が特徴的な原紙は、山形謄写印刷資料館の後藤卓也館長による本誌連載『温孔知新』で紹介されていました「大東化工」でいまなお製造しています（①）。また、画材道具として太陽精機よりガリ版キットが販売されており、手軽に謄写版・ガリ版をはじめてみたい方が画材店で手に入れることができる様です。

タイプ原紙ですので、タイプライターで打ち込むことによって穴が開き製版できます。この原紙は海外の発案で、タイプによる製版はエジソンをはじめとして多くの発明者が議論を行っていたという記述^{*1}がある通り、様々な人物が登場します。私の書籍「謄写版のこれまで・これから」内の年表では素材を開発した、ジョン・ブロードリックを上げましたが、原紙開発者として一番有力なのはゲステットナーになります。

ゲステットナー、和紙との出会い——結論から先に申し上げますと、タイプ原紙もロウ原紙と同様和紙を使用した原紙が始まりになります。しかし、ハンガリー出身のゲステットナーが、どのようにしてこの日本の和紙というものに出会ったのでしょうか？

『The story of a little wheel that started a big revolution（大きな革命を起こした小さな車輪の物語）』というゲステットナーの小史・歴史の本があります（以下小史）。和紙との出会いの答えはこの小史の中にありました（②）。

◎ハンガリー王国のチェルナ出身のゲステットナーは19世紀末におけるウィーン金融崩壊の後、アメリカに渡る

が貧しく、シカゴの街角で「罌」を売って生計を立てていた。

◎彼はその罌の紙の独自の性質に気付いた。ワックスを塗って防水加工した紙は軽くて丈夫であった。

と記述されています（③）。

当時、生活苦で商売をしていたわけなのですが、売っていた罌の紙が「ワックスで防水加工していた日本の紙」だったらしく、その様な物があるという知識を得た事、それが和紙との出会いだったようです。

原紙のための和紙——小史では「TAKAMATSU」と「YOSHINO」という和紙が登場します。四国の地名を冠したこの2種類の和紙は、海外での謄写版を支えた重要な紙として伝えられています。それぞれの和紙の特徴として「TAKAMATSUは強靱な和紙である、繊維の穴が開いてない、でも凄く薄い、という特徴を持っている」「YOSHINOは穴が沢山開いた構造。薄い」とあります。それぞれにロウ引きなどを施して、ロウ原紙やタイプ原紙になっていきます。

和紙の特徴や用途から見てみましても、TAKAMATSUは雁皮紙、YOSHINOは典具帖紙のことでしょう（④）。この小史の中ではあまり雁皮紙・典具帖紙という言葉では記述されていません。どうやらゲステットナーと取り引きのあった輸入仲介会社ベアリック・ブロス社^{*2&3}間による呼び名で販売していたようです。

ゲステットナーのロウ原紙の特許は1885年、1888年にタイプ原紙特許を取得しています（堀井は1895年日本で原紙特許取得）。

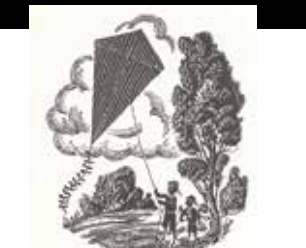
1921年、タイプ原紙の商品の品質を改善するために、ワックスコーティングからゼラチンコーティングになった「デュロタイプ」を商標（⑤⑥）。1925年、プラスチック化合物からなるコーティングタイプの原紙、デュロタイプが登場します。この頃になると、もう日本の和紙から卒業して、新しい生産ラインで製造できるようになった、ということが小史に書かれています。



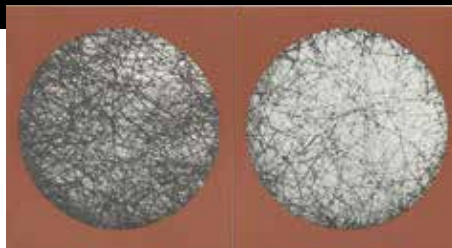
①大東化工タイプ原紙



②『The story of a little wheel that started a big revolution』の表紙



③小史より ゲステットナーの和紙との出会いを描いた罌イラスト



④小史より TAKAMATSU（左）と YOSHINO（右）の顕微鏡写真



⑤「デュロタイプ」パッケージ写真



⑥タイプライターによるデュロタイプ製版の様子



⑦アンディ・ウォーホルの作品



⑧ペトラ・シュルツェ・ウォルガストのZINE

特徴から考える表現——書籍『謄写版のこれまで・これから』では、タイプ原紙による作品を数点掲載しています。

アンディ・ウォーホルの作品もその一つで、この作品はタイプ原紙製版して刷っていない状態のもので、タイプ原紙による謄写版もアーティストにとって手軽な版材料であったことが窺えます（⑦）。現在ドイツで活動中のペトラ・シュルツェ・ウォルガストさんはタイプライターを使ったグラフィックアートをメインに制作しています。制作と並行して、タイプライター原紙（リソマスターも含む）を使ったZINE（冊子、雑誌、自費の雑誌）も作っています（⑧）。

ただいま10-48.netのオンライン企画で、書籍に登場した6名の作家による展覧会を開催しています。中でも宝珠光寿さんはタイプライター原紙を使い作品を制作しています。宝珠さんの作品では鉄筆による製版はもちろんですが、毛筆液（毛筆謄写版用の描画液）をタイプ原紙製版にも使用しているとのこと。ゼラチン質の皮膜であるため、その様な製版も可能であるでしょう（⑨）。

また、タイプ原紙は被膜が非常に柔らかく、被膜を軽く



⑨宝珠光寿の作品



⑩タイプ原紙によるフロッターージュ

②～⑥写真提供：アーウィン・ブロック氏
⑦ © Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc.
/ Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo

スクラッチすることで被膜がすぐ取れてしまう特徴があります。ですので、物の上でこすって模様を出す、フロッターージュ表現も可能になります（⑩）。私の書籍では、ロウ原紙によるフロッターージュ^{*4}の製版方法を紹介しました。ロウ原紙を潰し製版をして、穴が開いた状態にした上でフロッターージュを行うということで、こすった図はロウにより穴に埋め戻ります。ロウ原紙のほうはネガ的な表現になります。タイプ原紙のフロッターージュでは、こすることにより皮膜が取れるので。図は黒くなります。タイプ原紙のほうではポジ的表現になります。

日本で謄写版の版画表現を探したときにロウ原紙による作品の数が多く、タイプ原紙による作品が見当たりませんが、いずれの原紙もその成り立ちから並行して使われていたものですので、タイプ原紙もじっくりと追ってみたい事柄のひとつなのです。

タイプ原紙で版画制作を行う宝珠光寿さんにインタビューを行った様子をFacebookで公開中です
◎謄写版インタビュー「版画家 宝珠光寿さん」
/ON AIR TO-SHA #7
<https://www.facebook.com/259525550841431/videos/323366845570074>



※1 W.B. ブラウドフォート著「The Origin of Stencil Duplicating」P82 § The Problem
※2 横浜山手西洋館にある「ベアリックホール」は英米と日本和紙を繋ぐ重要な商社「ベアリック・ブラザーズ」パートラム・ベアリックの邸宅でした <https://ja.japantravel.com/神奈川/横浜山手ベアリックホール/2422>
※3 日本の薄口和紙の海外貿易貢献人「吉井源太」の記事が展望社「聚美-vol.36-」にて増田勝彦氏著「紙の万華鏡 vol.36- ガリ版をささえた薄口和紙-」に掲載されていますので併せてご覧ください
※4 フロッターージュ（frottage）は、シュルレアリスムで用いられる技法の1つでフランス語の「frotter（こする）」に由来する。木（の板）、石、硬貨など、表面がでこぼこした物の上に紙を置き、鉛筆でこすると、凸凹が模様となって紙に写し取られる。このような技法およびこれにより制作された作品をフロッターージュと呼ぶ。（wikipedia）

事務局日誌と今後のスケジュール

8月の事務局日誌

- 3日 プライバシーマーク現地審査（大阪）
- 4日 プライバシーマーク現地審査（京都）
- 5日 日印産連 理事会（日印産連会議室）→清水副会長・沖専務
- 6日 プライバシーマーク現地審査（愛知）
- 7日 プライバシーマーク現地審査（愛知）
- 18日 プライバシーマーク現地審査（和歌山）
- 19日 日印産連 広報委員会（日印産連会議室）→事務局
- 20日 広報委員会（本部+WEB会議）
- 24日 SPACE-21 正副幹事長ミーティング（WEB会議）、経営技術研究委員会（WEB会議）、プライバシーマーク現地審査（大阪）
- 25日 マーケティング委員会（WEB会議）
- 26日 総務委員会（WEB会議）
- 27日 生産性向上委員会（WEB会議）、ジャグラ BB 委員会（WEB会議）、印刷物創注委員会（WEB会議）

9月のスケジュール（9.7現在）

- 3日 ジャグラコンテスト専門委員会（WEB会議）、プライバシーマーク現地審査（栃木）
- 4日 全国中央会 臨時総会（都内）→委任状
- 9日 プライバシーマーク現地審査（北海道）
- 10日 総務委員会（WEB会議）
- 14日 マーケティング委員会（WEB会議）、SPACE-21 幹事会（WEB会議）
- 15日 日本自費出版文化賞結果発表会（吉祥寺・東急 REI ホテル）→中村会長・沖専務・事務局
- 16日 拡大理事会（本部+WEB会議）、日印産連・印刷の月 式典（ホテルニューオータニ）→中止
- 17日 プライバシーマーク審査会（本部）
- 18日 広報委員会（本部）
- 23日 経営技術研究委員会（WEB会議）
- 24日 プライバシーマーク現地審査（香川）
- 28日 プライバシーマーク現地審査（大阪）
- 29日 プライバシーマーク現地審査（大阪）
- 30日 生産性向上委員会（WEB会議）

10月のスケジュール（9.7現在）

- 2日 ジャグラ BB 委員会（WEB会議）
- 5日 ジャグラコンテスト専門委員会（WEB会議）

会員の異動

●新入会員

◎**㈱代田ファクトリー（東京・文京）** 熊谷 俊明
〒168-0074 杉並区上高井戸 1-24-20 霜山第2ビル2F
Tel 03-5357-8088 / Fax 03-5357-8048
URL <http://daitafactory.co.jp>

事・務・局・便・り

9月1日は防災の日です。防災の備えはいかがでしょうか？ ジャグラでは水、ヘルメット、非常食、毛布などをいざという時のために備えています。すでに大きな台風が来ていますが、今年はさらにコロナ禍が加わり、ソーシャルディスタンスをキープするため、避難所では定員を減らす対応をしたようです。避難所に行ったものの定員で断られて2か所回ってやっと受け入れてもらったなどの話を聞きました。家族や社員との連絡など、日頃の備えを忘れずにいたいものです。（K.N）

月刊
グラフィックサービス
No.826
2020
09

月刊『グラフィックサービス』826号

■発行日 令和2年9月10日（毎月1回）
■発行人 中村 耀
■編集人 清水 隆司
■発行所 一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
TEL 03-3667-2271
FAX 03-3661-9006
WEB <https://www.jagra.or.jp/>

ジャグラは一般財団法人日本情報
経済社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎企画：ジャグラ広報委員会

委員長 清水 隆司 / 副会長
委員 中村 耀 / 会長
田中 秀樹 / 東京・城東
米田 和秀 / 関東複写
斎藤 成 / 東グラ専務理事
沖 敬三 / 専務理事
外部委員 藤尾 泰一 / (有)インフォ・ディー
事務局 阿部奈津子
守田 輝夫

◎原稿・編集・校正：ジャグラ事務局ほか

沖 敬三 並木 清乃 阿部奈津子
今田 豪 守田 輝夫 酒井 玲子
長島 安雄（以上、ジャグラ事務局）
斎藤 成（東京グラフィックス / 広報委員）
藤尾 泰一（有)インフォ・ディー / 広報委員）
日経印刷(株)（校正のみ）

◎渉外 並木 清乃 守田 輝夫

◎広告 酒井 玲子

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版 / デザイン (有)インフォ・ディー

組版 = Adobe CS6/CCほか
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ほか

UD FONT
by MORISAWA

※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎組版 / 印刷 日経印刷(株)（東京・千代田支部）

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
CTP = 富士フイルム XP-1310R
刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
インキ = DIC
用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
※本誌はFSC森林認証紙（管理された供給源からの原材料で作られた紙）とLED-UVインキ（リサイクル対応型）を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2020 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。
原則、TMや®マークは省略しています。
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします。

ジャグラBB
JaGra Broadband Contents Service

HOTNEWS
2020年9月号

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2005年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

登録方法ご案内

ジャグラBBに登録すると200タイトル以上の番組をご視聴いただけます。

<https://www.jagrabb.net>



サイト右上の新規登録をクリックしてください。



メールアドレスを入力して仮登録を申請します。



すぐにメールが届きますので案内のURLをクリックします



登録する会員情報をフォーム入力してください。



内容を確認して送信すれば登録完了です。



登録したPWでログインして番組をお楽しみください。



スマホの方はこちらから簡単に登録いただけます。



登録方法をムービーにまとめました。是非ご覧ください。

カテゴリ ニュース ジャグラ情報

今月のおすすめ番組

▶最新情報はWEBをチェック



奈良県支部（株）新踏社の取組み放映！
せんとくん通信
『鹿と人との共生を目指す取り組み』
（奈良県支部（株）新踏社）



新・ビジネスマナー入門
【3章～4章】



個人情報保護セミナー(2020)
個人情報保護法改正法について



カテゴリ BBネットワーク 支部・地協発情報

カテゴリ 教育と技術 ビジネスマナー

カテゴリ 経営 個人情報保護



リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

菊全印刷に新風を



RMGT 970 誕生

いまの環境社会に適合するために、もっとも大切なことはなんでしょうか？

地球や環境にやさしく、それでいて生産性が高い、新時代の菊全印刷機を開発しました。

新開発の RMGT 970 は、最大紙寸法 650×965 mm（最大印刷寸法 640×930 mm※1）。

菊全判用紙やK判用紙に、ジャストサイズです。

さらに、メイクレディから試刷り、本刷りまでをノンストップで行える自動印刷機能※2により、

印刷準備時間の短縮や稼働率の向上を実現します。

菊全判印刷機 RMGT 970 が菊全印刷に新しい風を吹き込みます。

※1 片面印刷時の仕様です。両面印刷時は 630×930mm

※2 スマートアシストプリンティングのオプション名称で開発中

Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

〒726-0002 広島県府中市鷺飼町 800-2 TEL 0847-40-1600

<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>